

佐野市景況レポート

令和2年4～6月期



佐野商工会議所
〒327-0027 佐野市大和町 2687-1
TEL 0283 (22) 5511 FAX 0283 (22) 5517
HP <http://www.sanocci.or.jp>
E-mail s-cci@sanocci.or.jp
調査協力：佐野市あそ商工会

《 概 況 》

業況の急激悪化と強い先行き不透明感

【 令和2年4～6月期 実績 】

全業種業況DI指数は▲58.3、前期（6月期）比▲24.1ポイントと最悪値を更新しました。利益DI指数▲62.8（前期比▲25.2）、売上高DI指数▲61.9（前期比▲29.1）と大幅悪化。仕入価格DI指数▲1.2（前期比▲9.1）、販売価格DI指数▲11.1（前期比▲9.4）、在庫DI指数11.1（前期比+11.1）、設備稼働DI指数▲30.1（前期比▲16.1）、資金繰りDI指数▲32.3（前期比▲10.9）と、需要減少による売上指数、仕入価格指数と販売価格指数の大幅下落、在庫指数の上昇、設備稼働率と資金繰りの悪化など深刻な景気悪化の状況を示しています。

【 令和2年7～9月期 見通し 】

全業種業況DI指数は▲55.5（前期比▲6.6）と、今後3ヶ月間も厳しい業況を予想しています。売上高DI指数▲58.9（前期比▲8.4）、販売価格指数▲11.2（前期比▲6.5）と、今後も売上高DI指数と販売価格指数悪化による業況悪化を予想しています。

【 事業所等の景況コメント他 】

景況に関するコメントには、『全く先が見えない』、『先行き不安』など新型コロナウイルス感染拡大による事業持続に関する不安が多く寄せられた。反面、『ネット通販の検討』などニューノーマル（新常态・状況）対応など積極的なコメントも一部挙げられた。

6月の日銀短観では、中小企業全産業の業況判断指数（DI）が▲33と過去最大の下落幅。コロナショックからの回復は、当面見込めないようです。コロナ渦中の現実を正しく理解し、自社が持続するに必要な対策の実施と補助金等の各種支援制度の活用を勧めます。

〔佐野市内における業況天気図〕

	実 績 (令和2年4～6月期)		見通し (令和2年7～9月期)	
業 況	▲58.3		▲55.5	
売 上 高	▲61.9		▲58.9	
販 売 価 格	▲11.1		▲11.2	
仕 入 価 格	▲ 1.2		5.2	
労 働 力	0.0		—	—

* 天気図の説明
(数字はDI値)
・仕入価格、販売経費、在庫はDI値をマイナス評価

晴れ	薄日	曇り	小雨	雨
26以上	11～25	10～▲10	▲11～▲25	▲26以下

調査協力：OKコンサルティング 代表 岡野 清（中小企業診断士）

☆ 業況について（令和2年4～6月期実績）

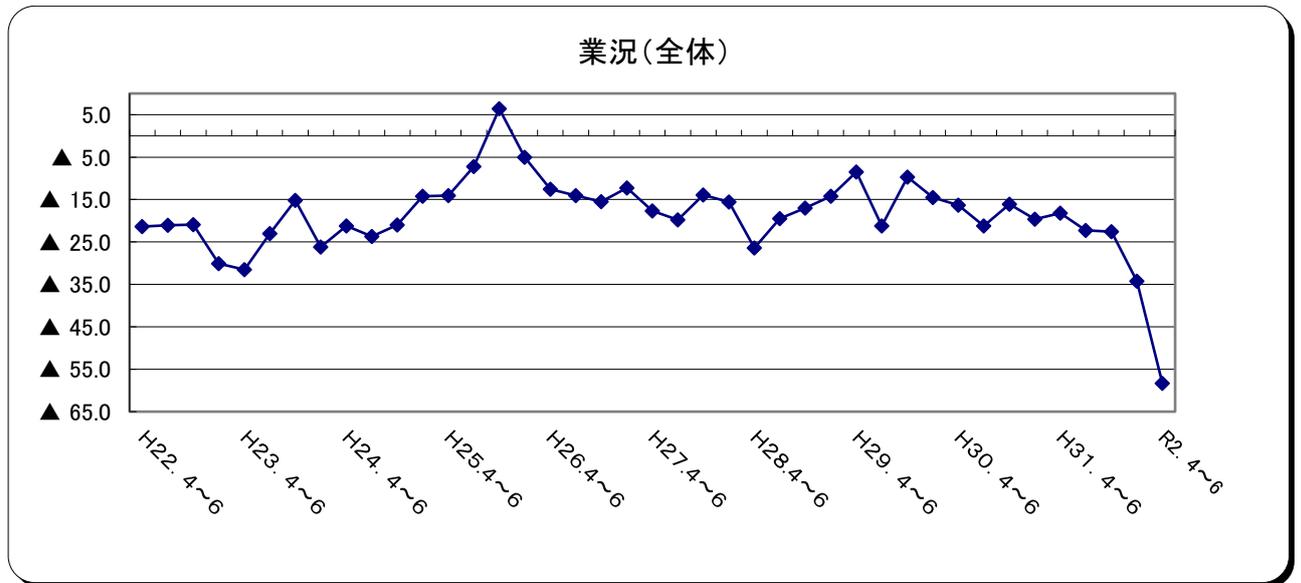


全業種 DI 指数▲58.3、前期比▲24.1ポイント低下

業種別 DI 指数（上位5業種）

- ①建設業▲8.8ポイント、②その他の製造業▲35.3ポイント、③設備業▲40.5ポイント、④卸売業▲51.2ポイント、⑤機械・金属製造業▲56.8ポイント

良い
↑
悪い



☆ 原材料仕入価格・仕入価格について（令和2年4～6月期実績）



全業種 DI 指数▲1.2、前期比▲9.1ポイント低下

業種別 DI 指数（上位5業種）

- ①設備業 14.3ポイント、②建設業 12.7ポイント、③卸売業 6.4ポイント、④食品製造業 4.9ポイント、⑤小売業（飲・食料品）、サービス業 0.0ポイント

上昇
↑
下落



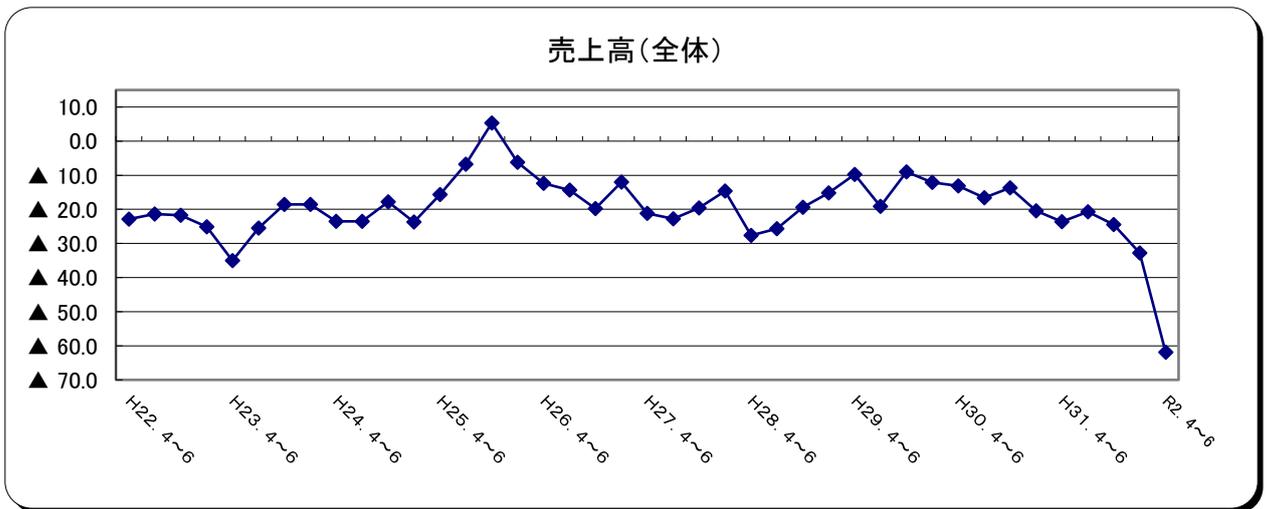
☆ 売上高について（令和2年4～6月期実績）



全業種 DI 指数▲61.9、前期比▲29.1ポイント低下
業種別 DI 指数（上位5業種）

- ①建設業▲9.4ポイント、②設備業▲31.6ポイント、③その他の製造業▲35.3ポイント、④卸売業▲45.0ポイント、⑤小売業（飲・食料品）▲56.3ポイント

増加
↑
減少
↓



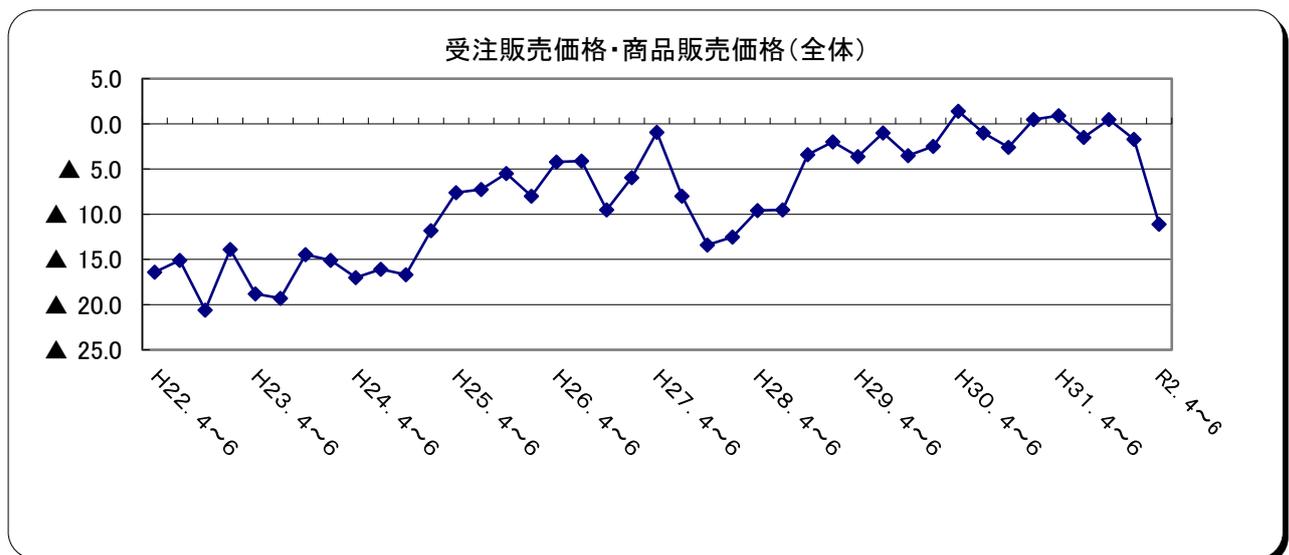
☆ 受注販売価格・商品販売価格について（令和2年4～6月期実績）



全業種 DI 指数▲11.1、前期比▲9.4ポイント低下
業種別 DI 指数（上位5業種）

- ①その他の製造業、卸売業 0.0ポイント、②食品製造業▲4.8ポイント、③サービス業▲6.5ポイント、④飲食店▲8.1ポイント、⑤化学・プラ製造業▲10.3ポイント

上昇
↑
下落
↓



☆ 製品（材料）在庫・商品在庫について（令和2年4～6月期実績）



全業種 DI 指数 11.1、前期比 11.1 ポイント上昇
業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①化学・プラスチック製品製造業 36.6 ポイント、②飲食店 30.4 ポイント、③繊維品製造業 26.1 ポイント、④その他の小売業(大型店含む)9.7 ポイント、⑤建設業 8.1 ポイント



☆ 利益状況について（令和2年4～6月期実績）



全業種 DI 指数 ▲62.8、前期比 ▲25.2 ポイント低下
業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①建設業 ▲17.6 ポイント、②設備業 ▲38.5 ポイント、③卸売業 ▲45.0 ポイント、④その他の製造業 ▲52.9 ポイント、⑤小売業(飲・食料品) ▲58.2 ポイント



☆ 資金繰りについて (令和2年4~6月期実績)



全業種 DI 指数▲32.3、前期比▲10.9ポイント低下
業種別 DI 指数 (上位5業種)

- ①建設業 0.0ポイント、②その他の製造業▲8.1ポイント、③卸売業▲13.6ポイント、
- ④機械・金属製造業▲30.0ポイント、⑤サービス業▲31.8ポイント

楽
↑
↓
苦しい



☆ 労働力について (令和2年4~6月期実績)



全業種 DI 指数 0.0、前期比 23.1ポイント上昇
業種別 DI 指数 (上位5業種)

- ①繊維品製造業 26.1ポイント、②化学・プラスチック製品製造業 25.9ポイント、③
- 機械・金属製造業 18.5ポイント、④飲食店 13.0ポイント、⑤その他の製造業 7.7ポイント

過剰
↑
↓
不足



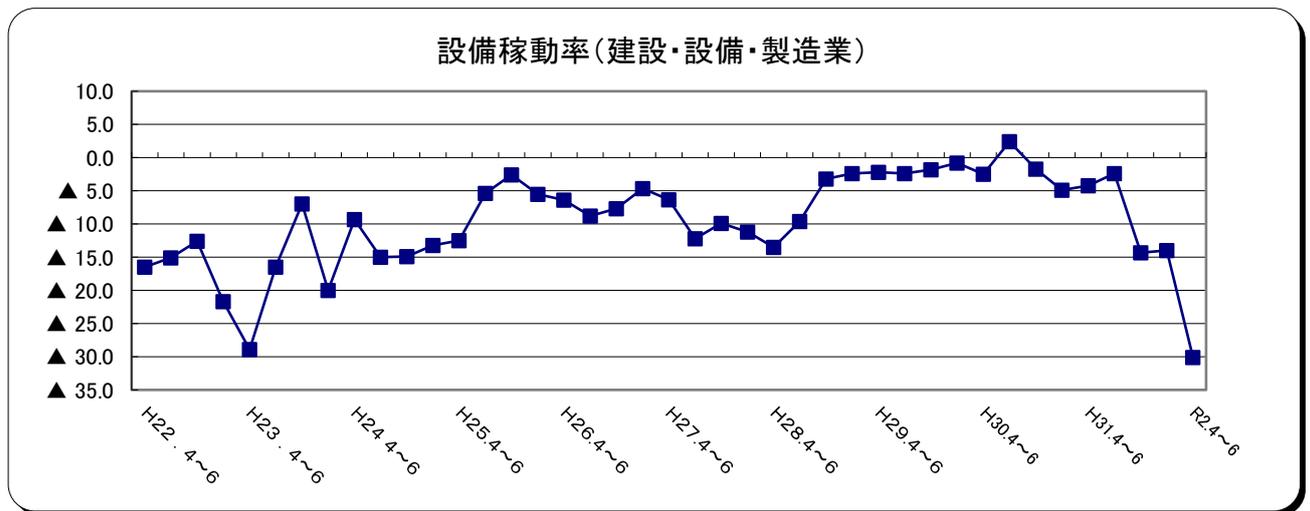
☆ 設備稼働率について (令和2年4~6月期実績)
(建設・設備・製造業関係)



全業種 DI 指数 ▲30.1、前期比 ▲16.1 ポイント低下
業種別 DI 指数 (上位5業種)

- ①建設業 0.0 ポイント、②食品製造業 ▲11.1 ポイント、③設備業 ▲14.3 ポイント、④その他の製造業 ▲24.3 ポイント、⑤化学・プラスチック製品製造業 ▲55.3 ポイント

高い
↑
↓
低い



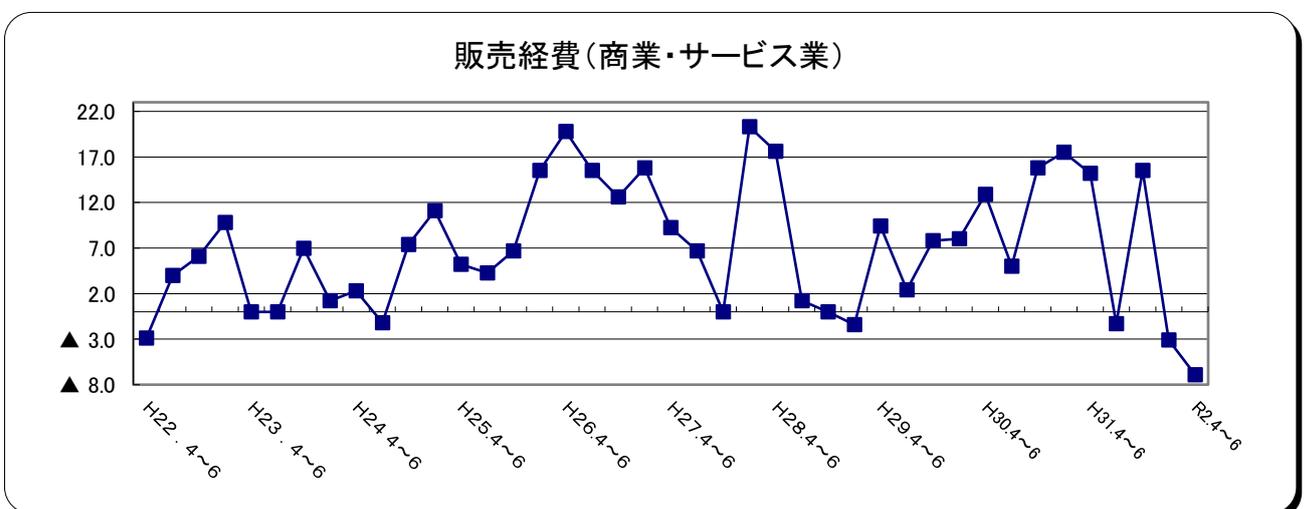
☆ 販売経費について (令和2年4~6月期実績)
(商業・サービス業関係)



全業種 DI 指数 ▲6.9、前期比 ▲3.8 ポイント低下
業種別 DI 指数 (上位5業種)

- ①飲食店 8.3 ポイント、②卸売業 0.0 ポイント、③小売業(飲・食料品) ▲4.1 ポイント、④サービス業 ▲14.0 ポイント、⑤その他の小売業(大型店含む) ▲42.9 ポイント

増加
↑
↓
減少



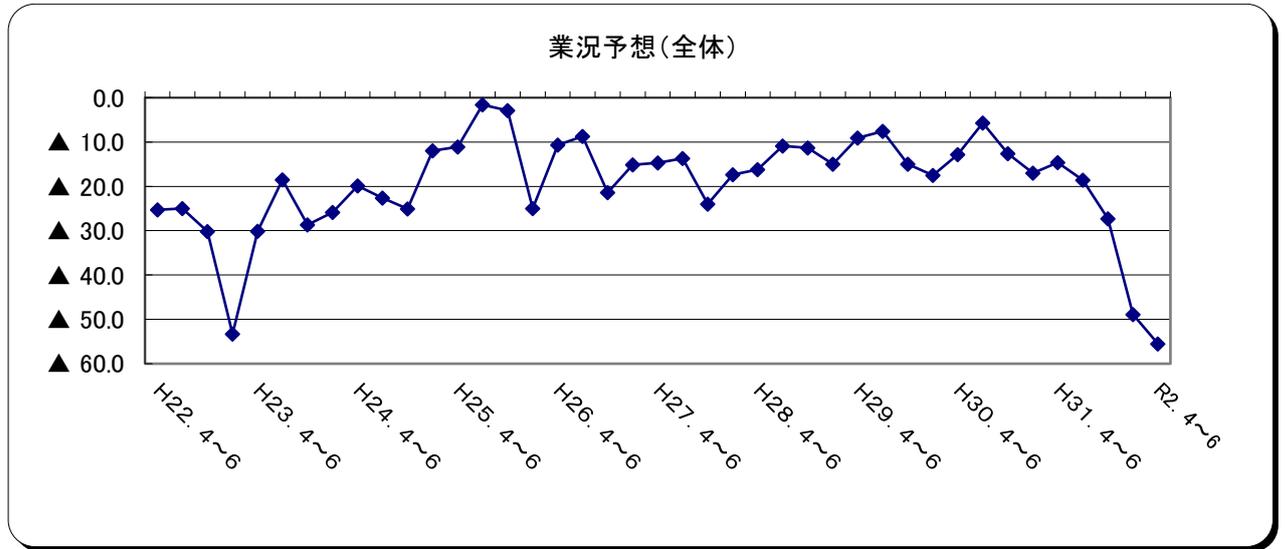
☆ 今後3ヶ月先（令和2年7～9月期の見通し）の業況について



全業種DI指数▲55.5、前期比▲6.6ポイント低下
業種別DI指数（上位5業種）

- ①建設業9.4ポイント、②その他の製造業▲16.7ポイント、③設備業▲38.5ポイント、
- ④機械・金属製造業▲53.4ポイント、⑤卸売業▲53.8ポイント

良い
↑
悪い



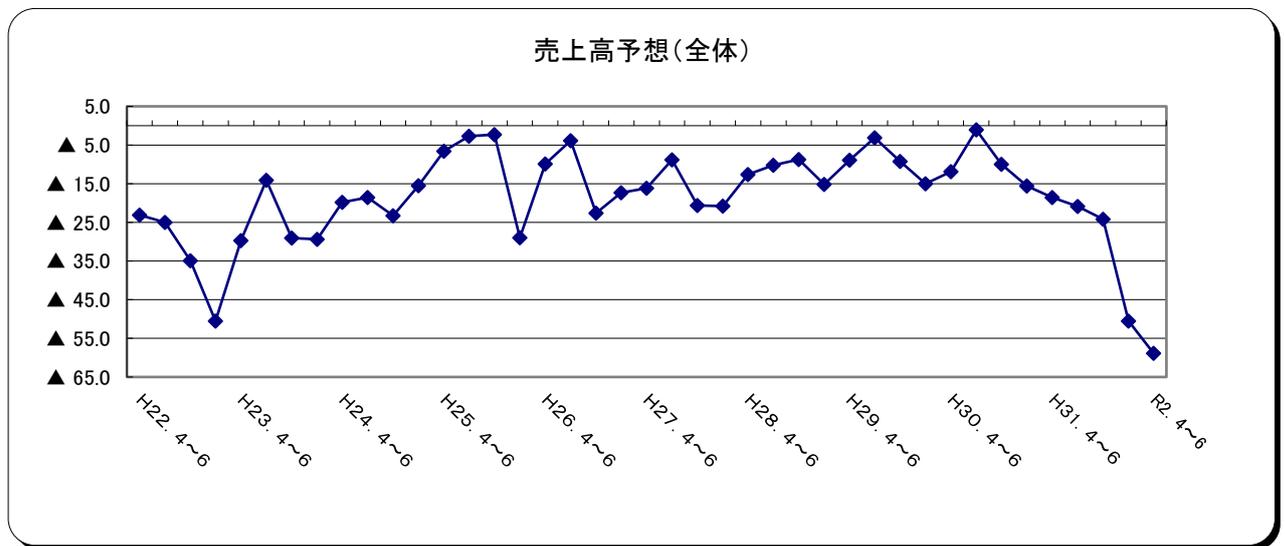
☆ 今後3ヶ月先（令和2年7～9月期の見通し）の売上高について



全業種DI指数▲58.9、前期比▲8.4ポイント低下
業種別DI指数（上位5業種）

- ①建設業0.0ポイント、②その他の製造業▲35.3ポイント、③設備業▲38.5ポイント、
- ④サービス業▲55.6ポイント、⑤卸売業▲63.2ポイント

良い
↑
悪い



☆ 今後3ヶ月先（令和2年7～9月期の見通し）の原材料仕入価格・仕入価格について

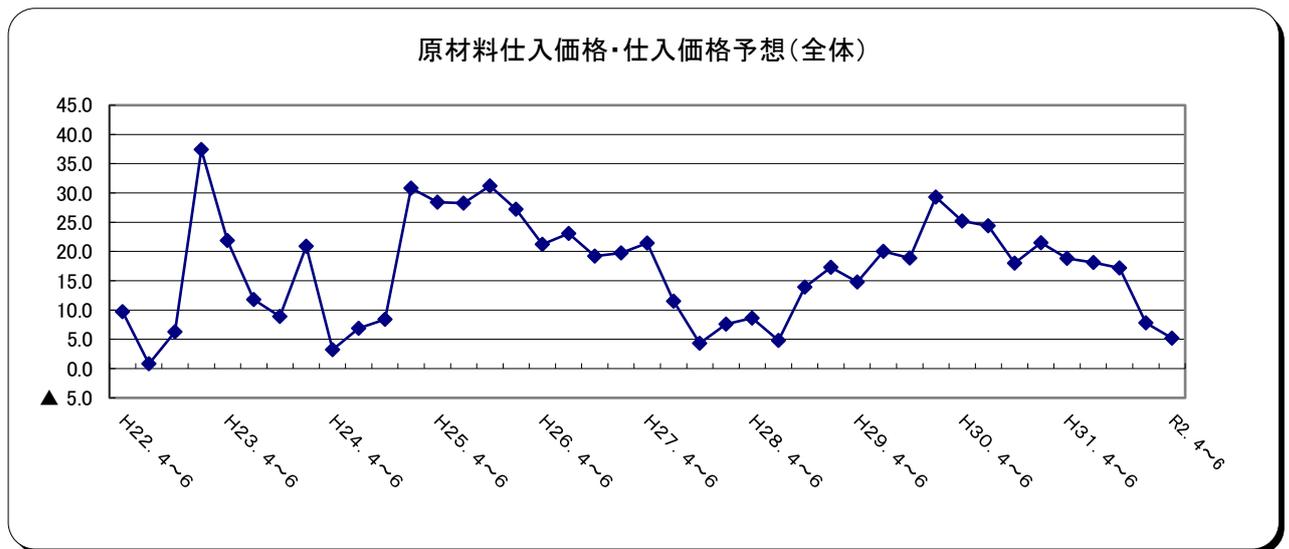


全業種DI指数 5.2、前期比▲2.6ポイント低下

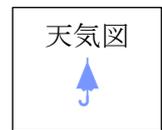
業種別DI指数（上位5業種）

- ① その他の小売業(大型店含む) 42.9ポイント、
- ② 小売業(飲・食料品) 15.8ポイント、
- ③ 卸売業 13.6ポイント、
- ④ 建設業 12.3ポイント、
- ⑤ 食品製造業 10.3ポイント

上昇
↓
下落



☆ 今後3ヶ月先（令和2年7～9月期の見通し）の受注販売価格・商品販売価格について



全業種DI指数▲11.2、前期比▲6.5ポイント低下

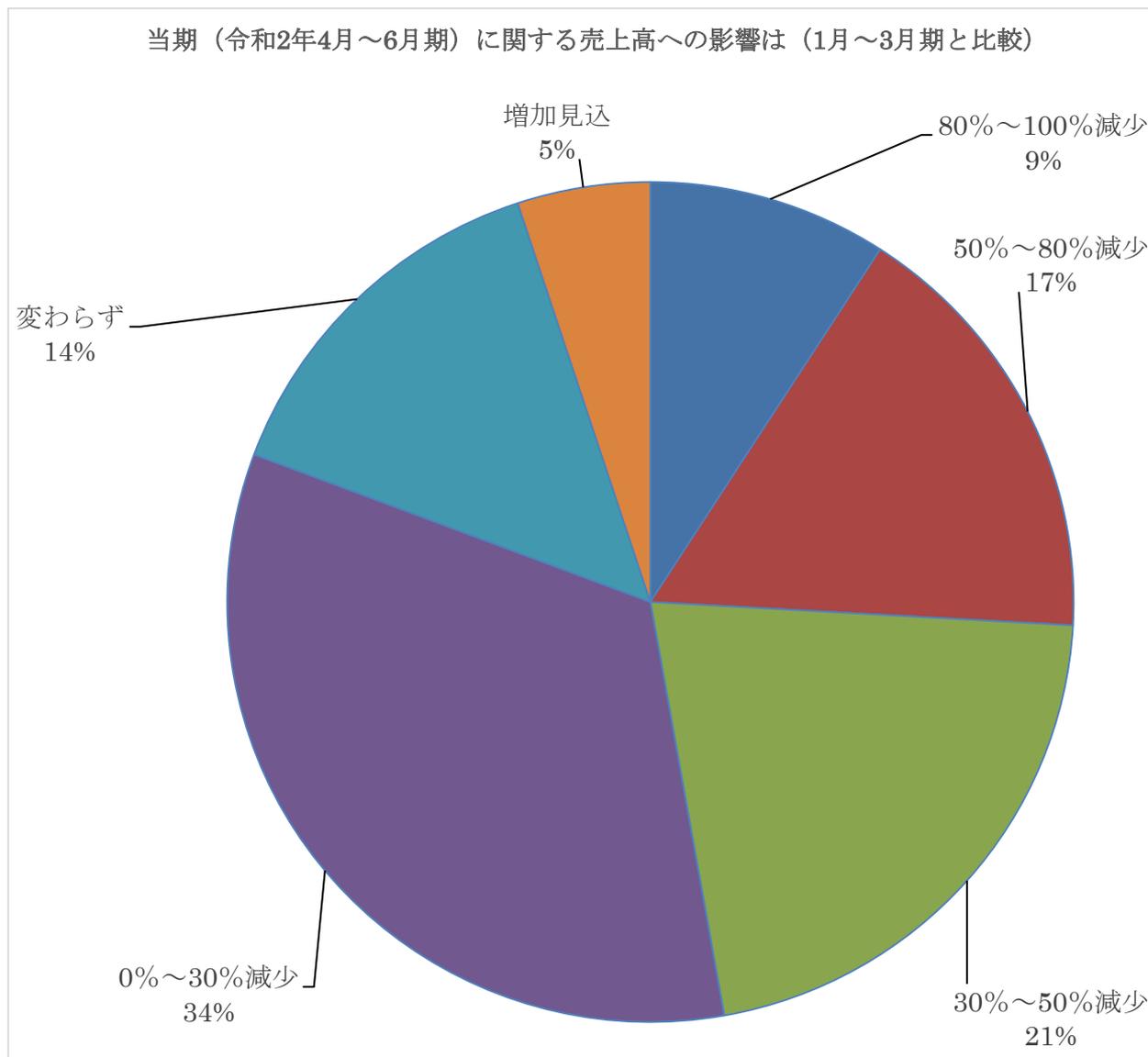
業種別DI指数（上位5業種）

- ① 卸売業 13.0ポイント、
- ② 小売業(飲・食料品) 0.0ポイント、
- ③ その他の製造業▲7.7ポイント、
- ④ 食品製造業▲9.7ポイント、
- ⑤ 機械・金属製造業▲10.8ポイント

上昇
↓
下落



☆ 新型コロナウイルスの売上高への影響について



☆ 市内各事業所からの景況に関するコメント ☆

※景況調査にご協力いただきました事業所のうち、「景気に対するコメント欄」にご記入いただいた内容を、そのまま掲載しております。

建設業

- ・今後のコロナウイルスによる仕事への影響が心配(他県仕事が多い為)5月に比べて6月はやや回復傾向。
- ・コロナウイルスの影響により4月中旬から5月中旬まで土日祝日の作業ができなくなり売上げが減少してしまった。
- ・新型コロナウイルスの影響で木材の単価が下落し、バイオマス燃料とて出荷しているが、単価が安いので同じ労力で売上げがないので苦勞している。
- ・体育器具、公園施設等関係の仕事は新型コロナウイルスにより各学校、公園、体育館の閉鎖になりましたが、最近何とか緩和されてきたものの先行不透明な感じがします。景気が回復することを望みます。
- ・佐野市の支払いは以前同様、完成引渡検査後40日後払込だが栃木県の支払いは以前より遅くなり契約約款では前払金は契約日から14日以内と定められているが40日後位になった。
- ・佐野市内の建設業社は多忙である。
- ・災害復旧工事はますます繁忙含みだが、縣市以外及び海外事業については、本年度になって販売停止状態であり、今後見通し立たず。

設備工事業

- ・台風19号、新型コロナウイルスと大変な時代です。今後共ご支援の程よろしくお願いたします。

繊維品製造業

- ・6月に急ブレーキがかかりました。向こう数か月は全く先が見通せません。
- ・現況をしっかり受け止めて今後の事業経営に生かしていきたいと思う。
- ・コロナの影響は1年半は継続すると考えます。事業の見直しを考慮し、次のステップを模索しています。
- ・今後の景気の業況の行方が解らない。
- ・コロナウイルスの影響が出ている。これから先が見えないことが厳しい。

食品製造業

- ・存続を第一に考えやっていますが、コロナ次第では、先が見えない苦しい状況があるかもしれません。
- ・イベントの中止、対面販売の禁止が影響大です。
- ・新型コロナウイルスの日々の感染情報に振り回された異常な状況は脱したが、予断を許さない状況は変わらず従業員の精神的疲労はピークに達している。都内の感染をおさえられていないことに腹立たしく「脱東京」というのが将来の生き残りのポイントと考える。(現実には難しいかもしれないが・・・)
- ・コロナ影響により製造している製品が一時的に品薄となり、増産にて対応しています。
- ・コロナがいつまで、どこまで影響していくのかという不安。現状消耗品(アルコール、マスク、手袋)の値上げラッシュです。
- ・去年の台風19号により休業中です。
- ・このコロナ騒動、国はもっと責任とるべきだ!! 零細企業へは無条件で融資を・・・弊社は焦げ付きが多々あるので融資が受けられず資金繰り苦しいです。

機械・金属製品製造業

- ・コロナがピークの4月の一時期はキャンセルもありましたが、GW頃より回復。
- ・5月はコロナと連休で売上が40%落ちました。4月と6月はまあまあだと思えます。

- ・顧客からの訪問自粛要請や購入計画の見直しに伴う一部製品での受注キャンセルが発生している。
- ・最近記憶に残っているワード、カルロス・ゴーン、アメリカ VS 中国、台風 19 号、コロナ・・・次はデノミ？まだ早いかな？
- ・企業の設備投資が新型コロナで無いので先の見通しが出来ません。
- ・当社は建築部材の製造・販売がメイン。元々今年度は建築関係の需要が低調なところに新型コロナが輪をかけて取引先の稼働も妨げており、販売が落ちております。
- ・3/1 から 3 ヶ月間、不要不急の外出をしないで良く頑張ったと思います。感染者が減少してほっとしていますが、ウイルスが消えたわけでもないので不安はあります。今まで通り気を付けて生活したいと思います。

化学・プラスチック製品製造業

- ・悪い先の見通しが無い。
- ・当社は設備投資から上昇・下降ともに遅れて発生する。利益率は変化ないが量自体が大きく変動、計画が難、先行き不透明。
- ・全く見通しが分からない。
- ・商談が自粛の影響で先送りになってしまった。当社ではイベント用の通い箱も制作しており、6 月は全くと言う程止まった。
- ・5 月の下旬より部門ごとの休業が開始になり、8 月上旬からは全社一斉で週 1 日の休業を予定している。
- ・コロナウイルスの影響が今後どうなるか？・・・のままです。
- ・コロナウイルスの影響で化粧品の売上げの減少、オリンピックがないため得意先の在庫がはけません。
- ・5 月は連休の関係で例年売上げは落ちるが今年の一部の車関係の仕事が 6 月～8 月ごろまでメーカーの落込み同様影響するのでは？

その他製造業

- ・5 月の連休迄は受注残があり工場稼働率は良かったが、その後は良くない。コロナの影響はこれから出てくると思う。働き方改革、新しい生活スタイル等どう変化するのか見極めたい。
- ・今後の最低賃金上昇が気になります。
- ・先は不透明な状態。
- ・2 月～3 月良い。4 月～5 月悪い。6 月良い。前年度 1 月～6 月売上 20%増加、7 月～12 月後半悪くない。

卸売業

- ・7 月以後を心配する方がいます。
- ・市場ストップにより(エンドユーザーのステイホーム)卸売先が完全に止まった為。
- ・早期、公共施設の活動 復活による消費回復。
- ・小口注文のため運賃が重荷。
- ・思わぬ品不足で逆に売上げが増えました。ティッシュペーパー、トイレットペーパー、不織布マスク、手洗い消毒液など。
- ・元に戻らないと思うので、新しい方法を考えていかなければならないと思います。

小売業(飲・食料品)

- ・テイクアウトの売上は増加したが、居酒屋への来店客が大幅に減少し、コロナの影響で輸入肉関係の値段が 15%位上昇の予定。先が見えない状況です。
- ・5～4 月以降の需要が見込めない状況。ユーザーもコロナで購買意欲に欠けている。売り込みの訪問もできない。
- ・4 月除く 5 月迄売上が順調でしたが、6 月に入って客足がバッタリと悪くなりました。4 月 15%の一で、今月から先行き不安です。
- ・来店がない状況では打つ手がない。
- ・コロナによる人の動きが減少したので休業解除からの人の動きに期待、ネットによる販

売も検討。

- ・コロナの影響で学校、幼稚園等の売上げがなくなっていました。その分お店の売上げが少し上がりましたが、6月に入り学校等が再開してからはお店の売上の減少、学校等も売上げが伸びずこれから暑くなりもっと売上げの減少があると思うと大変です。
- ・新型コロナウイルスにより、お店に買い物に行く人が少なくなった様だ。収入も減ったのかな、とにかく商品が売れない。終息を願うばかりだ。
- ・新型コロナ禍はまだまだ大きな影響があるようで不安であります。
- ・新型コロナウイルスの影響がいつまで続くのか？
- ・外出の自粛要請にともなう営業中止は大きな影響が出ました。状況は戻りつつありますが、新しい生活様式に合わせた新しい取組みが必要であると実感しています。

その他の小売業（大型店含む）

- ・4月、5月売上げが上がる時期、外出を控えるような報道があり100%影響した。
- ・外出自粛の為ガソリンの売上が減少、前の仕入価格が高い時の売りで利益がない。
- ・新型コロナウイルスの影響はたしかにある。

飲食店

- ・持続化給付金及び栃木県協力金などについて貴所職員に教えていただきありがとうございました。
- ・コロナウイルスによりGWの売上はひどいです。今後の見込みも厳しいです。
- ・初めて「経営計画書」らしきものを作成し、補助金の申請を行いました。むずかしかったです。
- ・今回、コロナ貸付及び補助金の申請を初めて行いました。とても手間のかかる内容でしたが、商工会議所の職員さんに手伝ってもらってとても助かりました。ありがとうございました。
- ・持続化給付金のおかげで売上減少を補ってありがたかったです。家族づれのお客様は徐々に来店されています。
- ・補助金や給付金、協力金などどこがどうちがうのか、むずかしくてよくわかりません。
- ・商工会議所の職員さんにていねいに教えていただいて、とても有難かったです。ありがとうございます。
- ・国県からの給付金の入金が遅いです。
- ・6月から店を開けたが、あまり出足はよくありません。
- ・100年に一度の大変革の時がきた。乗れるか乗れないかそこが問題だ！
- ・さまざまな支援金がありますが、週替りで制度が変更になるのでよくわかりません。
- ・GWに店を休業しました。
- ・持続化給付金の申請手続きが大変でした。
- ・公庫の融資をあっせんしてもらいました。通常2~3ヶ月かかるところをすぐ決済いただき大変助かりました。商工会議所及び公庫の担当者の方ありがとうございます。
- ・商工会議所お会員ですが、普段は行ったことがありません。今回初めて相談にのってもらったら親切に対応いただきありがとうございました。
- ・台風19号で災害借入を行い、今回はコロナで借入を行いたい借入金が増えてしまいました。今後はがんばって売上を回復させ借金を少しずつ返済していきたいと思えます。

サービス業

- ・予想ができない。期待することがこわい。
- ・現段階ではなかなか読みにくいのかなと思ってます。
- ・コロナの影響で売上げ減少です。商業店でも補助金はもらえるのでしょうか？
- ・現在は習い事の見直しを見送る家庭もおおそうですが、夏休みを堺に考え直すお宅も多いのではないかと感じています。
- ・仕事量が多く、労働力が不足しているため対応しきれしていない。
- ・来店客が減少、売上減少。

佐野市景況調査 要項

- 1 調査時期 令和2年4月～6月
- 2 調査業種 佐野市内に本支店を有する建設業・製造業・商業・サービス業・飲食店など290社（内訳：佐野商工会議所地区（旧佐野市）200社、佐野市あそ商工会地区（旧田沼町・旧葛生町）90社）を対象として実施し、197社（回答率67.9%）から回答がありましたものを取りまとめたものです。

(1) 建設業

① 建設業	25社
② 設備工事業	21社

(2) 製造業

① 繊維品製造業	22社
② 食品製造業	18社
③ 機械・金属製品製造業	40社
④ 化学・プラスチック製品製造業	36社
⑤ その他の製造業	22社

(3) 商業・サービス業

① 卸売業	15社
② 小売業（飲・食料品）	23社
③ その他の小売業（大型店含む）	27社
④ 飲食店	19社
⑤ サービス業	22社

3 分析方法[景況動向指数（DI）による]

景況指数は、好況・不況の差を指数にしたものであり、基準指数が「0」で上限限度は、+100・-100となり、プラスは景況の好転、マイナスは景況の悪化をあらわしている。

DI方式は、
$$\frac{3x - 3z}{3x + 4y + 3z} \times 100$$
により算出

x：「良い」「増加」「騰貴」「過多」等の回答企業数

y：「普通」「ほぼ同様」「適正」の回答企業数

z：「悪い」「減少」「下落」「不足」等の回答企業数

- 4 主 管 佐野商工会議所
- 5 調査協力 佐野市あそ商工会
- 6 お問合先 佐野商工会議所経営支援課 TEL（代表）0283-22-5511



佐野商工会議所